

「生徒指導提要」改訂（令和4年1月）の趣旨

[生徒指導提要とは]

小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができるよう、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書（12年ぶりの改訂となる）

[生徒指導の目的]

生徒指導は、生徒一人一人の個性の発見と良さや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることが目的

【→自己指導力を身に付けさせることが重要】

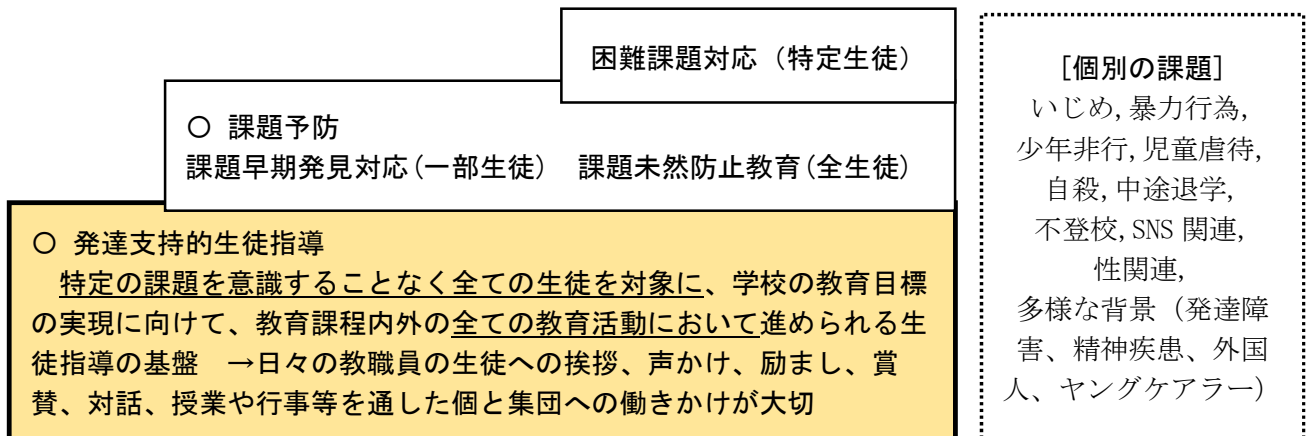
[生徒を支える際の視点]

(1) 自己存在感 (2) 共感的な人間関係の育成 (3) 自己決定の場の提供 (4) 安全・安心な風土の醸成

[生徒を支える学校としての方向性]

- (1) 生徒が自発的・主体的に成長・発達する過程を支える意図でなされる教職員の働きかけ
- (2) 学習指導と生徒指導の一体化
- (3) チーム学校による生徒指導体制の構築

[支援の構造]



[不適切な指導の例]

- ・ 大声で怒鳴る、ものを叩く、投げる等の威圧的感情的な言動
- ・ 生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分なまま思い込みで…
- ・ 組織的な対応を全く考慮せず、独断で…
- ・ 殊更に生徒の面前で叱責するなど、生徒の尊厳やプライバシーを損なう…
- ・ 生徒が著しく不安感や圧迫感を感じる場所で…
- ・ 他の生徒に連帯責任を負わせることで、本人に必要な以上の負担感や罪悪感を与える
- ・ 適切なフォローを行わない